

ねご会議

—猫とくつろぐ優しい時間—

京都市役所の前から御池通を西に進むと、一文字だけ「猫」と書かれた看板が目に入る。ビルの2Fにひっそりと店をかまえる『京都猫カフェねご会議』は京都ではまだ少ない猫カフェの一つだ。今回はそんな『ねご会議』の店長・堀井さんにお話を伺った。 (猫ろ餅)



店長の堀井さん

—そもそも猫カフェとは？

もちろんカフェですので、コーヒーとかも飲めるんですけど、お店の中を猫が自由にうろついてるんですね。その猫たちと一緒に遊んだり写真を撮ったりして楽しんでもらうのが主なご利用方法になります。猫を飼いたくても飼えないから来るお客さんが多いですが、「猫が嫌いなのを克服しにきました！」なんてお客さんもいらっしゃいます(笑)。猫のかわいさを満喫できる場所ですよ。

—『京都猫カフェねご会議』のこだわりは？

一般的な猫カフェには血統書付きのブランド猫がいるんですけど、うちにいる猫はみんな雑種で、もともと保護されていた猫なんですね。捨てられて不幸な猫がたくさんいる現状を少しでも変えられたらと思います。

あとはそうですね……猫に親しみを持ってほしくて猫の名刺なんかをグッズにしています。猫にもそれぞれ個性があるので、それを人間風に表現してみたら面白いかなと思って。なぜ名刺かというと『ねご会議』だから。ちなみに『ねご会議』という名前の由来は、猫たちが集まっている様子が会議しているように見えるからです。きつと難しいことは話してないでしょうけれど(笑)。

—猫への想いをどうぞ。

ふ、深い質問ですね(笑)。実は私、ももとは国家公務員として働いていたんです。でも、経営に興味を湧いてきたのと、猫が好きなのが相まって猫カフェを始めちゃいました。それぐらい猫が好きです。見た目のかわいらしさはもちろんですけど、自立しているように見えるのも魅力的かなあ。ペットと飼い主という関係ではなく、対等な関係なんです。うーん、神秘的！

—京大生にひとことどうぞ。

少しでも興味があるという方、ぜひお気軽におこしください。特に、猫のことはよくわからないという方！そういう方にこそ、うちをきっかけに猫を知ってほしいですね。猫好きになって帰ってってください！

—ありがとうございました。

Information

●営業時間
11:00~21:00
(入店は20:00まで、火曜日定休)

●料金
1時間800円、ドリンク200~300円

●公式サイト
<http://www.nekokaigi.com/>

